

「慶北大学校サマースクール参加報告書」

京都大学 法学部 2年 渡邊 彩華

私は今年の3月の延世大学校スプリングスクールに参加した。

延世大学校のプログラムと慶北大学校のプログラムを比較しながらプログラムの内容を述べようと思う。

前者は、授業は1~7レベルまであり、自分にあったクラスを選びやすいようになっていた。そしてバディ制度はあったものの、交流の頻度などは比較的本人たちに任せられていた。そのためあまり留学先の学生と交流する機会がなかった。しかし後者に比べて前者のほうが留学期間が長かったせいか授業後の自由時間が多かった。したがって自分の興味・関心にしたがって行動ができた。例えば私は伝統文化に興味があるのであるが、昔の王宮を巡ったり、韓国国立中央博物館に行ったりした。一方で後者は留学前からバディが学校ごとについて親切に案内などをしてくれた。留学中もずっとついて身の回りの世話などをしてくれたおかげで快適に不自由なく過ごすことができ、韓国の人との交流がしっかりできた気がした。また授業のクラスは2つだった。

そのため、私はちょうどよかったが、自分の韓国語レベルに適するクラスがなかった人も多かったのではないかと思った。私にとってはプログラムの内容が充実しており現地の学生としっかり交流できた今回のプログラムにとっても満足している。

また私には今回の留学で2つの目標があった。一つは語学力を向上させること、もう一つは韓国の文化を感じることだ。留学期間が短かったのもあり、韓国語の授業は5,6回しかなかったのが少し残念だった。

しかし授業では、韓国のドラマ、映画、テレビ番組、歌、伝統文化体験などを通して楽しく韓国語を学ぶことができた。またすべての授業が韓国語で進行していくためリスニング力が鍛えられた。例えば、こういうときにはこういう表現がよく使われるな、などが自然とわかった。またいろいろなことを通じて韓国の文化を学ぶことができた。授業だけではなく、韓国特に大邱の歴史や韓国の音楽日本の文化との違いの特別講義、シティーツアー、伝統文化体験などを通じてたくさんのことを学ぶことができたプログラムが充実していたおかげだと思う。

海外に行くのは今回が2回目だったのですが、行くのが同じ国だったのもあり1回目の経験を生かすことができた。

海外生活で1番大切なのは自分の健康管理をしっかりすることだと思う。いくら2回目の韓国での生活で少し慣れているからと言って、気を抜かなかった。

もともと日本の伝統文化が好きで日本の伝統文化を未来に向けて守り、世界中に広めたいという夢があった。

そして日本の文化を相対的に見るために海外の文化も学びたいと思っていた。韓国への留学もそれが理由の一つだった。しかし韓国への留学が2回目になり、第二外国語でも韓国語をやっていると自然と韓国に親しみがわき、観光の文化についてももっと知りたいと思うようになりました。そして今、私は日本と韓国の文化を比較しながらお互いの文化のいいところを世界に広めるといふ夢ができた。

今回韓国に行くのは2回目であったが、行く地域が違ったのもあってか1回目とは違う発見もできた。今回のプログラムで経験したことは一生の思い出になったと思う。